



RULES FOR THE FIS ALPINE POINTS

アルペンポイントルール日本語版

EDITION 2025/2026

(日本語: 2025年10月版)
※英語版との相違がある場合は、英語版を優先する。

INTERNATIONAL SKI FEDERATION

Blochstrasse 2; CH- 3653 Oberhofen / Thunersee; Switzerland

Phone: +41 (33) 244 61 61

Fax: +41 (33) 244 61 71

Email: alpine@fis-ski.com

Alpine FIS Points and race results administration

Janez Flere: +41 (33) 244 61 61

E-Mail: flere@fis-ski.com

2023ポイントルール日本語版からの変更箇所

1	競技会 THE COMPETITION	
1.1	必要条件.....	5
1.2	スケジュールの変更とキャンセル	5
1.2.1	カテゴリーの変更.....	5
1.3	U21 競技会	5
1.4	ナショナルチャンピオンシップ (国内競技者権大会).....	5
2	競技者 THE COMPETITORS	
2.1	登録	5
2.1.1	コード番号	6
2.2	登録料.....	6
2.2.1	登録	6
2.2.2	1 シーズンの競技者登録料.....	6
2.2.3	ポイント確認	6
2.2.4	払い戻しなし	6
3	評価期間 EVALUATION PERIOD	
3.1	北半球.....	6
3.2	南半球.....	6
4	計算方法 CALCULATION PROCESS	
4.1	レースポイント	6
4.2	FIS ポイント	6
4.2.1	ベース FIS ポイントリスト (BL) (*)	6
4.2.2	ノーマル FIS ポイントリスト (NL).....	7
4.2.2.2	ベース FIS ポイントリスト (BL) (*)	7
4.2.2.3	ノーマル FIS ポイントリスト (NL).....	8
4.2.3	アンチドーピングルール違反.....	8
4.2.4	有効期間	
4.2.5	競技活動を停止した競技者	
4.4	ペナルティ計算.....	8
4.4.1	ペナルティ計算.....	8
4.4.2	レースをスタートした上位 5 競技者.....	8
4.4.3	選ばれた上位 5 競技者	8
4.4.4	競技者が 5 人未満の場合：マックス値.....	8
4.4.5	10 位に競技者が 2 人以上いる場合.....	9
4.4.6	FIS ポイント 5 位に競技者が 2 人以上いる場合.....	9
4.4.7	計算	9
4.4.8	ペナルティの切り上げ、切り下げ	9
4.4.9	アルペンコンバインド	9
4.4.10	予選の FIS ポイント	9
4.5	カテゴリーアダーとミニマム/マキシマム値.....	9

4.6	インジャリーステータス.....	9
4.6.1	届け出.....	9
4.6.1.1	条件.....	10
4.6.2	妊娠.....	10
4.7	職業義務 及び 兵役.....	10
4.8	1つの大会で複数のレースが行なわれる場合	10
4.8.1	ダウンヒル (DH) 、回転 (SL) 、大回転 (GS) 、スーパーG (SG) 、アルペンコンバインド (AC)	10
4.9	カテゴリー, レースレベルとミニマム-マキシマムペナルティー	11
5	FIS ポイントリスト THE FIS POINTS LIST	
5.1	FIS ポイントリストは電子的に入手可能である。	11
5.2	記号	11
5.3	個別リストの発行期日及び有効期限.....	12
6	主催者と技術代表 (TD) への指示 INSTRUCTIONS FOR ORGANISERS AND TECHNICAL DELEGATES	
6.1	電子データ転送.....	12
6.1.1	レースリザルトのファイル名の構成について	12
6.2	評価、非評価への忠告	12
7	出場枠 QUOTAS	
7.1	出場枠の計算.....	12
7.1.1	FIS ポイントリスト No1.....	12
7.1.2	FIS ポイントリストの上位 150 位以内 (第 4.2.5 条に従う).....	12
7.1.3	FIS ポイントリストの上位 150 位にはいないが 151~300 位にランクされている場合.....	13
7.1.4	有効期間.....	13
7.1.5	リザルトなしの競技者	13
7.1.6	開催国のスキー連盟の基本出場枠	13
7.1.6.1	例外.....	13
7.1.7	国別グループ	13
7.2	女子の出場枠ルール	13
7.3	開催国のダブルクオータ	13
7.4	南半球のレースでのダブルクオータ	14
7.5	各国選手権(NC と NJC)への海外競技者の出場	14
7.5.1	条件	14
7.5.2	公式ルート	14
7.6.	FIS 競技会への参加	14
7.6.1	各国スキー連盟の出場枠は、以下のとおりである。	14
7.6.1.1	オリンピック冬季競技大会、世界選手権大会	14
7.6.1.2	ワールドカップ、コンチネンタルカップ	14
7.6.2	すべてのアルペン競技会での競技者の数は 140 人を超えてはならない。	14
7.6.3	特別出場枠	14
7.6.4	ナショナルジュニアレース(NJR)	15
7.7	出場枠の超過	15

RULES OF THE FIS POINTS

これらの規則は ICR の不可欠な部分です。(第 618 条)

1 競技会 THE COMPETITION

1.1 必要条件

以下の条件に合うレースのみ FIS ポイントの対象となる。

- FIS カレンダーに記載されている競技会
- 國際競技規則 (ICR) を厳守していること
- 第 3 条に記載する期間内に開催される競技会

1.2 スケジュールの変更とキャンセル

スケジュールの変更、すなわちレース日時・レース会場の変更、レースのキャンセル、プログラム上の重要な変更は、直ちに以下に報告すること。

- FIS 本部

- CH-3653 Oberhofen/Thunersee
- Tel +41 (33) 244 61 61, E-mail: alpine@fisski.com
- その競技会に任命された技術代表 (TD)

変更通知は、最初のチームキャプテンミーティングの最低 4 日前までに FIS へ連絡されなければならない。

1.2.1 カテゴリーの変更

各国スキー連盟は登録された競技会を別のカテゴリーに変更を希望する場合（または新たな大会のカレンダーへの追加）は、最初のチームキャプテンミーティングの 10 日前までに FIS に通知しなければならない。

1.3 U21 競技会

FIS カレンダーに記載された U21 (NJR, JUN) 及び NJC (U18) の競技会では、シニアの参加は認められない。

例外：ナショナルジュニアチャンピオンシップ (NJC)

1.4 ナショナルチャンピオンシップ (国内競技者権大会)

各国スキー連盟の国内競技者権大会として NC と NJC の各種目男女 1 レースのみが認められる。

2 競技者 THE COMPETITORS

2.1 登録

競技者は、FIS ウェブサイトのメンバーセクションにある FOU システムを使い登録される。ステータスを「アクティブ」から「インアクティブ」に変更した場合、その後の FIS ポイントリストには含まれない。ステータスが「アクティブ」の競技者は、来るシーズンの登録者とみなす。インジャリーステータスの競技者は、インジャリープロテクションを維持するために、「アクティブ」のままにしなければならない。

暦年の終日（12月31日）までに 16 歳に達した者のうち、ICR203.3 条に従い競技者宣誓書に署名した者のみ、所属する各国スキー連盟により登録が可能な対象者となる (ICR607 条を参照)。各国スキー連盟は、競技者が適切な保険に加入し、FIS の競技者宣誓書に署名をしたことに責任を持つ。

アクティブ（FIS ポイントリストに載る）。競技者が FIS 大会に参加をしない場合でも、ステータスはアクティブのままになる。アクティブからインアクティブへのステータスの変更は、6月1日～12月31日の間のみ行うことができる。

ステータスを「アクティブ」から「インアクティブ」に変更後、競技者は4シーズンに渡りポイントを確認できる。ポイントの確認は、4シーズン以降は不可能となる。

2.1.1 コード番号

有効な FIS コードを持った競技者（女子と男子）のみレースへの参加を許可される。

2.2 登録料

2.2.1 登録

登録された競技者について登録料金が課せられる。この額は、各国スキー連盟の FIS 口座から引き落とされる。

2.2.2 1 シーズンの競技者登録料

競技者登録システムまたは FIS オフィスを経由しての申請：CHF33.00 (U18 CHF20.00)

“FIS ポイントリスト No.6 に登録されている全ての競技者”又は“スタートした競技者”は請求の対象となる。

2.2.3 ポイント確認

ポイント確認料：CHF200.00

2.2.4 払い戻しなし

競技者がシーズン中に引退した場合や、各国スキー連盟による登録間違いがあった場合、払い戻しはしない。

3 評価期間 EVALUATION PERIOD

3.1 北半球

評価期間は11月第2週末に始まり、4月30日に終了する。例外：ワールドカップ、ヨーロピアンカップ

エントリーリーグ（ENL）レベルの評価期間は10月第2週末に始まる。

3.2 南半球

南半球についての評価期間は7月1日に始まり、10月15日に終了する。

4 計算方法 CALCULATION PROCESS

4.1 レースポイント

レースポイントはアルペン公式に基づき計算される。

4.2 FIS ポイント

4.2.1 ベース FIS ポイントリスト (BL) (*)

ベース FIS ポイントリスト (BL) は6月中旬に発行される。

4.2.1.1 昨シーズン中各種目で獲得した2つのベストリザルトの平均を BL リストの計算に使用する。

4.2.1.1 昨シーズンの各種目の最高成績の平均が、以下のとおり BL リストの計算に使用されます。

- 回転および大回転：最高 3 つの成績
 - ダウンヒル、スーパー大回転、アルペン複合：最高 2 つの成績
- (BL27の計算に有効)

- 4.2.1.2 昨シーズン中にアルペン種目(ダウンヒル、回転、大回転、スーパーG 及びアルペンコンバインド)で 1 つのリザルトしか得られなかった競技者にはリザルトの 20% (+) がそのリザルトに足される。
- 4.2.1.2 昨シーズン中、回転または大回転で 3 回未満の結果、または滑降、スーパー大回転、アルペン複合で 2 回未満の結果しか獲得していない競技者は、以下の調整の対象となります。
- 回転と大回転 - 2 回の結果：2 回の結果の平均を算出し、その平均値に 20% のペナルティを適用します。
 - 回転と大回転 - 1 回の結果：1 回の結果に 20% のペナルティを加算し、さらに新しい合計に 20% のペナルティを適用します。例：1 回の結果が 48.00 秒の場合 → $48.00 + 20\% = 57.60 \rightarrow 57.60 + 20\% = 69.12$ 。
 - 滑降、スーパー大回転、アルペン複合 - 1 回の結果：1 回の結果に 20% のペナルティを加算します。
- (BL27の計算に有効)

- 4.2.1.3 昨シーズン中、アルペン種目のリザルトがない競技者には、前回の BL ポイントに 50% (>) が足される。これらの競技者は引き続きアクティブとして FIS に登録しなければならない。
- 4.2.1.3.1 インジャリーステータスがなく、そのシーズン競技成績が全くない競技者で、50% を加算した後の BL で上位 30 位に入っているものは、自動的に 31 位となり、31 位と同等の FIS ポイントを獲得する。

4.2.1.3.2 2 シーズン続けて競技成績がなく、BL で 999.99 を持つ者は FIS リストから外される。

4.2.1.4 4.6.1.1 条に従って負傷状態が承認された場合、現在のポイントがプロテクトされたポイントより優れていない場合、競技者の BL に 10% (#) が加算されます。

4.2.2 ノーマル FIS ポイントリスト (NL)

No.1 は 7 月 1 日に BL を基にして発行される。その他のリストは FIS ウェブサイトに掲載されているスケジュールに従って公開されます。

4.2.2.1 NL はその期間における各競技の 2 つの良い成績の平均が、BL よりも良かった場合反映される。

4.2.2.1 評価期間中、有効な BL ポイントを持つ競技者については各競技における最高成績の平均が

BL ポイントを上回る場合にのみ 以下のとおり NL に反映されます。

- 回転および大回転：ベスト 3 成績
 - ダウンヒル、スーパー大回転、アルペン複合：ベスト 2 成績
- (2027 年シーズン有効)

4.2.2.2 BL ポイントなし

評価期間中に BL ポイントを保有していない選手の場合、その NL ポイントは 4.2.2.1 条と同じ方法

で算出されます。

4.2.2.3 リザルト 1 つのみの場合で BL ポイントがある場合

評価期間中に各種目につき 1 つのリザルトのみで、BL ポイントがある場合は、BL ポイントが有効になる。

4.2.2.3 必要数を下回る結果と BL ポイント

現期間中、競技者が有効な BL ポイントを保有している種目で、回転または大回転で 1 つまたは 2 つの結果しか獲得できなかった場合、あるいは滑降、スーパー大回転、アルペン複合で 1 つの結果しか獲得できなかった場合、BL ポイントは有効のまま使用され、そのまま使用されます。

(2027 年シーズン有効)

4.2.3 アンチドーピングルール違反

競技者がアンチドーピングルールを違反した場合、その競技者が今まで獲得したポイントは、FIS アンチドーピングルール 10.1.2 条に基づき、抹消される。

4.2.4 有効期間

リザルトの有効期間は、進行中のシーズンとする。

4.2.5 活動していない競技者

ある種目でリザルトのない状態が 1 年経過した場合、その FIS ポイントには FIS ポイントリスト上で特別の印が付けられる (5.2 条)。

4.4 ペナルティ計算

4.4.1 ペナルティ計算

ペナルティの計算は、該当する有効リストに基づいて行われる。

4.4.2 レースをスタートした上位 5 競技者

スタートをした FIS ポイント上位 5 名の競技者を選ぶ (完走者、失格者、DNF、2 本目をスタートしてない者)。「DNS1」または「NPS1」の競技者は対象としない。ポイントがマックス値を超えている場合、マックス値を使用する。(4.4.4 条参照)

4.4.3 完走した上位 5 競技者

当該レースの上位 10 位から FIS ポイント上位 5 名の競技者を選ぶ。

ポイントがマックス値を超えている場合、又はポイントがない場合、マックス値がペナルティ計算に使われる。

4.4.4 競技者が 5 人未満の場合：マックス値

リザルトリストの上位 10 位の競技者で FIS ポイントを有する競技者が 5 人未満の場合、もしくはスタートした競技者のうち、FIS ポイントを所持する者が 5 人未満の場合、FIS ポイントのない競技者つまり残りの競技者がマックス値を与えられる。：

ダウンヒル： 330 ポイント

スーパーG： 270 ポイント

回転： 165 ポイント

大回転： 220 ポイント

アルペンコンバインド： 270 ポイント

”上位 5 名のうち FIS ポイント保持者が 3 人に満たない場合”または、”3 人の競技者が完走しない場合”には、各競技のマックスポイントの 2 倍がミニマムペナルティとなる。

BL では、”FIS ポイントのない競技者”または”ペナルティ計算に使用される 2 倍の値よりも高い FIS ポイントを所持する選手”に有効。

※ 5 名未満の場合（4 名以下）レースポイントが無く計算が成立しないためマックスの 2 倍を採用する。

4.4.5 10 位に競技者が 2 人以上いる場合

レースで複数の競技者が 10 位にランクした場合、彼らが FIS ポイント上位 5 名に入っている場合に限り、全員がペナルティ計算の対象となる。

4.4.6 FIS ポイント 5 位に競技者が 2 人以上いる場合

複数の競技者が FIS ポイント 5 位にランクした場合、ペナルティ計算に考慮されるべきであり、レースポイントの高い競技者がペナルティ計算の対象となる。（理由：よりよいペナルティのため）

4.4.7 計算

- 最初に完走した上位 10 人のうち 上位 5 人の FIS ポイント または “マックス値 (=合計 A) と、スタート時の FIS ポイント上位 5 人の FIS ポイント (=合計 B) を足す。次に (完走した上位 10 人のうち) FIS ポイント上位 5 人の競技者のレースポイントを足す (=合計 C)。この値が各種目のマックス値 (DH330、SL165、GS220、SG270、AC270) を越える場合、レースポイントのマックス値で計算する。
- レースポイントの合計 (合計 C) を、完走した上位 10 人のうちの 上位 5 人の FIS ポイント (合計 A) とスタート時の FIS ポイント上位 5 人 (合計 B) の合計から引く。それを 10 で割る。 ((合計 A + 合計 B - 合計 C) ÷ 10)

4.4.8 ペナルティの四捨五入

ポイントの小数第三位を四捨五入する。（例 13.654 = 13.65 あるいは 21.849 = 21.85）。

4.4.9 アルペンコンバインド

すべての FIS アルペンコンバインド種目ではスピード種目 (DH または SG) の FIS ポイントが与えられる。ただしワールドカップ、ヨーロッパカップ、ノルアムカップ、オリンピック、世界選手権では競技者が両方を完走した場合のみ。FIS ポイントペナルティーは、テクニカルデータを考慮に入れて適用される。

4.4.10 予選の FIS ポイント

FIS ポイントは、KO とパラレルの予選に対して計算される。

パラレル本戦に出場しなかった競技者には FIS ポイントは与えられない。

予選で認められた FIS ポイントは、通常のスラロームの 1 本目としては認められない。各 NSA は次のパラレルを開催することができる。

NC および NJC の男女各 1 レース

FIS カテゴリーでは男女各 2 レース以上は認められない。

ENL カテゴリーでは制限なし。

4.5 ミニマム/マキシマム値

ミニマム/マキシマム値は、各 FIS ポイントリスト (1 ページ) で公表される。

4.6 インジャリーステータス

4.6.1 届け出

競技者が負傷し、シングルペナルティを申請する場合、各国スキー連盟はFISに公式オンラインシステム（傷害データベース）を使用しできるだけ早くまたは遅くとも4月30日までに申請し、承認を得なければならない。

診断書には、怪我の種類と回復期間を詳細に報告する必要がある。公式フォームと医師の診断書は、1シーズンのみ有効である。（WC: ワールドカップルール22.2条を参照）

4.6.1.1 条件

- 競技者は、負傷者保護を維持するために、FISにアクティブ登録を維持する必要があります。
- 以下のスタート回数制限を1つ以上超過した競技者は、インジャリーステータスの対象外となります。
 - レベル1、2、3、または4の大会において、いずれか1つの種目に5回以上出場している
 - レベル0の大会において、いずれか1つの種目に4回以上出場している
 - レベル1、2、3、または4の大会において、全種目に15回以上出場している
 - レベル0の大会において、全種目に8回以上出場している
 - インジャリーステータスは「オール・オア・ナッシング」であり、上記の条件に基づいて、すべての種目に出場資格を得るか、失うかが決定されます。
- 競技者が8ヶ月の期間より前に出場した場合、BLポイントは傷害なしのポイントを反映して再計算されます。

4.6.2 妊娠

プロテクトステータスは、診断書がFISに届き確認され次第(または最終スタート後)子供の誕生までの間に開始される。出産予定日は診断書に記載される必要がある。子供の誕生後もプロテクトステータスは最大9か月間有効である。各国スキー連盟が正確な医学的理由を述べたFISポイントプロテクトステータスの延長をFISに書面で申請しない場合は失効する。申請方法は第4.6.1条に準じる。

4.7 職業義務及び兵役

競技者が職業的義務（学業）及び兵役のため競技することができないことを証明する「学業または兵役」の届け出を各国スキー連盟が事前に提出し、理由と期間を明確にした場合、条項4.6に従い処理される。

4.8 1つの大会で複数のレースが行なわれる場合

4.8.1 ダウンヒル(DH)、回転(SL)、大回転(GS)、スーパーG(SG)、アルペンコンバインド(AC)

大会の一部として、各種目及び各カテゴリー(WC, COC, FIS)につき2レースのみFISカレンダーで公表でき、同じ公認コース上で5日以内であることに留意しなければならない。ACの一部として3番目のDHまたはSGの場合、そのスピード種目のFISポイントは与えられない。さらに、各種目及び各カテゴリーにつき2レースある大会に加えての代替競技の運営は許可されない。そのような追加競技には、FISポイントは与えられない。

4.9 カテゴリー、レースレベルとミニマム-マキシマムペナルティー

Category / Catégorie / Kategorie	Race level	Penalty		Adder	Z-Value
		Minimum	Maximum		
OWG	Olympic Winter Games	0	0.00	0	0
WC	World Cup	0	0.00	0	0
WSC	World Ski Championships	0	0.00	0	0
COM	World Cup Speed Event	0	0.00	4.00	0
WQUA	World Cup Qualification	0	0.00	4.00	0
ANC	Australia New Zealand Cup	1	15.00	999.00	0
EC	Europacup	1	15.00	999.00	0
ECOM	Europacup Speed Event	1	15.00	999.00	0
FEC	Far East Cup	1	15.00	999.00	0
NAC	North America Cup	1	15.00	999.00	0
SAC	South America Cup	1	15.00	999.00	0
LVS	Universiade	1	15.00	999.00	0
WJC	World Junior Championships	1	15.00	999.00	0
EQUA	Europacup Qualification	1	23.00	999.00	0
NC	National Championships	2	20.00	999.00	8
AWG	Asian Winter Games	3	23.00	999.00	8
CISM	Military and Police	3	23.00	999.00	8
CIT	Citizen	3	40.00	999.00	8
CITWC	Citizen World Cup	3	40.00	999.00	8
CORP	Corporate	3	23.00	999.00	8
EYOF	European Youth Olympic Festival	3	23.00	999.00	8
FIS	FIS	3	23.00	999.00	8
FQUA	FIS Qualification	3	23.00	999.00	8
JUN	Junior	3	23.00	999.00	8
NJC	National Junior Championships	3	23.00	999.00	8
NJR	National Junior Race	3	23.00	999.00	8
UNI	University	3	23.00	999.00	8
YOG	Youth Olympic Winter Games	3	23.00	999.00	8
ENL	Entry League	4	60.00	999.00	8

5 FIS ポイントリスト THE FIS POINTS LIST

5.1 FIS ポイントリストは電子的に入手可能である。

ALFPxxx.zip はファイルであり、FIS ポイントリストプログラムで有効である。（“xxx”は常にリスト番号とシーズン番号である。例として 2025/2026 のNo.1 のALFP126F.zip は、完全リストの意味。ALFP126P は、前回からのアップデートされた情報のみの意味。）

5.2 記号

- * ベースリスト
- # 4.2.1.4 条によるインジャリーステータスプロテクト
- + 昨シーズン該当種目で1つしかリザルトを残していない競技者（第 4.2.1.2 条）または1つのリザルトしか残しておらず、当該シーズンの BL がない（第 4.2.2.2 条）(20%)

- ^ 昨シーズン中にテクニカルイベント (SL-GS) で2回のみリザルトを獲得した競技者。第4.2.1.2条 回転および大回転 - 2回の結果：2回の結果の平均を算出し、その平均値に20%のペナルティを適用する。 (2027年シーズンまで有効)
- > 昨シーズン該当種目でリザルトを獲得していない競技者 4.2.1.3条(50%)
- C ポイントコンフォメーション
- インジャードであるが計算ポイント採用

5.3 個別リストの発行期日及び有効期限

印刷期日及び有効日は、FIS ウェブサイトで公開される。

6 主催者と技術代表 (TD) への指示 INSTRUCTIONS FOR ORGANISERS AND TECHNICAL DELEGATES

6.1 電子データ転送

リザルトは FIS フォーマット (E-Mail : results@fis-ski.com) にて電子的に伝送しなければならない。TD は大会終了後直ちにリザルトの正確な伝送を監督し、該当するレポートを作成しなければならない。また、ウェブでの正確なリザルトの掲載を確認しなくてはならない。TD レポート及びタイミングレポートがないリザルトは FIS ポイントリストに反映されない。

6.1.1 レースリザルトのファイル名の構成について:

- OC の国名 (FIS ICR で表記されている 3 文字)
- Codex (FIS カレンダーを参照) ポイントの後: xml

6.2 評価、非評価への忠告

FIS ポイント評価対象から競技会を排除するには正当な理由があるべきである。理由は「TD 報告書」に明記しなければならない。

多数の競技者がレースをフィニッシュした後にレースを中止しなければならない場合、TD はレースの評価・非評価を明記したレポートを提出しなければならない。

7 出場枠 Quotas

7.1 出場枠の計算

7.1.1 FIS ポイントリスト No1

各国スキー連盟の FIS レースの出場枠は、5 種目 (DH、SL、GS、SG、AC) のうちの 1 種目の当該シーズン FIS ポイントリスト No1 に載っている競技者の FIS ポイントを使い計算される。各国スキー連盟にとって、最も有利な種目が考慮される。

7.1.2 FIS ポイントリストの上位 150 位以内 (第 4.2.5 条に従う)

1-6 名	6 枠
7名	7 枠
8名	8 枠
9名	9 枠
10名	10 枠

7.1.3 FIS ポイントリストの上位 150 位にはいないが 151～300 位にランクされている場合

- | | |
|-------|-----|
| 0-1 名 | 4 枠 |
| 2 名以上 | 5 枠 |

7.1.4 有効期間

これらの出場枠は FIS ポイントリストの評価期間中、有効である。

7.1.5 リザルトなしの競技者

前のシーズンにおいて 1 つもリザルト（それぞれの各種目において）がない競技者（FIS ポイントリストで”>”）はそれぞれの各種目の出場枠計算には含まれない。FIS ポイントに従ってスタートする権利は有する。このルールはアクティブインジヤードの競技者（FIS ポイントリストに”#”の記号）には適用されない。

この規定は、すべての出場枠の計算（ワールドカップ、コンチネンタルカップ、パラレルワールドシーディングリスト）にも適用される。

7.1.6 開催国のスキー連盟の基本出場枠

開催国のスキー連盟の基本出場枠は 50 で、最大 140 まで補充することができる。国別出場枠と開催国枠を順守した結果、140 を超えた場合、すべてエントリーが認められる。140 に達しなかった場合、開催国スキー連盟は、残りの枠を自国の競技者で埋めることができる。

7.1.6.1 例外

下記に述べる開催国のスキー連盟の出場枠は、SL と GS は 70、DH、SG、AC は 90 とする。
AUT、CAN、FRA、GER、ITA、NOR、SLO、SWE、SUI、USA、RUS

7.1.7 国別グループ

- CAN-USA / DEN-FIN-ISL-NOR-SWE / ARG-BOL-BRA-CHI / AUS-FIJ-NZL / CHN-JPN- KGZ-KOR-MGL-IND-PAK / LBN-ROU-RSA-CYP-LUX-POR-AND-SRB-MON-SMR-IRL：
これらの国別グループの国で開催されるレースに対しては、各国につき最高 30
- FRA-ESP-AND：ドローボードに 140 名以下の場合、40 枠まで増加できる。
- CZE-POL-SVK：その国のグループの国で開催されたレースで、140 名まで埋まらなかった場合、各国 50 枠。
- ARM-BIH-BUL-CRO-CZE-GRE-HUN-KAZ-KGZ-MNE-SRB-MKD-POL-RUS-SLO-SVK-TUR-IRI-UZB-UKR：これらの隣接国で開催される大会について出場枠は 30 とする。
- BIH-BUL-SLO-SRB：これらの国別グループの国で開催されるレースで、ドローボード上で最大の 140 名に満たないときはダブルクオータ。
- BEL-DEN-LUX-NED-ISL-IRL / BIH-BUL-CYP-GRE-MNE-MKD-SRB：これらの国別グループの国で開催されるレースに対しては、各国につき最高 30
- LIE での大会では、隣接する国である SUI と AUT の出場枠は 15 とする。
- 開催国は 7.1.6 条に従い出場枠を常に受ける。

7.2 女子の出場枠ルール

女子の出場枠ルールは 140 人以上の競技者がエントリーした場合に適用される。

7.3 開催国のダブルクオータ

全ての関係国が合意に至っている限り、レース開催国はダブルクオータを適用してもよい。

これを超える出場枠については秋季ミーティングの 2 週間前までに提案しなければならない。
(南半球では春季ミーティングの 2 週間前まで)

7.4 南半球のレースでのダブルクオータ

南半球でダブルクオータは有効である。ただしエントリーが多い場合、主催者は通常の FIS 出場枠までに出場枠を減らす権利を持つ。同じ権利が南半球の国にも適用される。南半球の国が北半球でのレースにダブルクオータを望む場合、関係する各国スキー協会と大会主催者の間で交渉する必要があり、特に合意された大会にのみ有効である。合意文書のコピーを TD に示し、FIS に提出されなければならない。

7.5 各国選手権(NC と NJC)への海外競技者の出場

7.5.1 条件

FIS レースの全条件が守られ、外国のスキー連盟の申込みが受けられた場合、国内選手権大会は「国際競技会」として考えられ、FIS ポイント対象となる。主催するスキー連盟は、25 人まで外国人を受けざるを得ない。ただし、各国の出場枠を適用することで 25 人以上の外国人参加が可能である。

7.5.2 公式ルート

他国の国内選手権大会に競技者を出場させたいと希望する各国スキー連盟は、競技/トレーニングの始まる少なくとも 1 週間前までに関係連盟に直接申請するべきである。FIS は、意見の相違が生じた場合、その解決のために介入することができる。

7.6 FIS 競技会への参加

7.6.1 各国スキー連盟の出場枠は、以下のとおりである。

7.6.1.1 オリンピック冬季競技大会、世界選手権大会

国際オリンピック委員会の規則と世界選手権大会及び世界ジュニア選手権大会開催規則に基づく。

7.6.1.2 ワールドカップ、コンチネンタルカップ

各種カップに対する出場枠はそれぞれの特別ルールに従い決定する。

7.6.2 すべてのアルペン競技会での競技者の数は 140 人を超えてはならない。

もし国別出場枠と開催国枠を順守した結果において 140 人を超えたとしてもこれは認められる。140 人に達しなかった場合開催国スキー連盟は残りの枠を自国の競技者で埋めることができる。

7.6.3 特別出場枠 Special Quota

FIS 理事会は、国と地域に対し特別出場枠を認めることができる。各国スキー連盟は FIS 秋季ミーティングの最低 2 週間前までに、南半球のレースの場合、春季ミーティングの 2 週間前までにその要望を FIS に直接送る。

7.6.4 ナショナルジュニアレース(NJR)

各国スキー連盟には、すべての NJR 競技会において、その FIS 出場枠(第 7.1.7 条の国別グループを含む)を基に次の算出方式に沿った固定されたクオータを有する。

FIS クオータ	NJR クオータ
10-9	5
8-7	4
6-5	3
0-4 まで	2

開催国は、最高 115 名の競技者をスタートさせることができる。海外からのエントリーが 25 名未満の場合、または、開催国が 115 名枠を使用しない場合、最大競技者数 140 名を考慮に入れ、通常のFIS 出場枠を適用することができる。女子競技の場合、140 人以上の競技者がエントリーした時、この決定事項が適用される。

7.7 出場枠の超過

各加盟国スキー連盟は競技者をその連盟が持つ大出場枠で出走させるだけの権利を有する。女性の競技は、第 7.2 条を適用する。

7.7.1 出場枠は、チームキャプテンミーティングにおいて確認され、ドロー前までに TD、レースセクレタリー、そして各チームキャプテンの代表らによっても確認される。

7.7.2 競技者がエントリーし、実際にスタートした結果、自国の出場枠を超えた場合、この規則違反が公式結果発表前に発覚すれば、最終結果の計算にもペナルティの計算にも考慮されない。この場合、「DQO (Over Quota)」として公式記録に表示される。このような規則違反が公式記録の掲示および公表後に発覚した場合、FIS事務局において、DQO (Over Quota) として公式記録に掲示された選手全員を排除した上で、再計算される。最終リザルトにおいてビブ番号の大きな競技者から失格となる。この手続きは、FIS事務局で行う。

Fig/Abb 1

THE ALPINE FORMULA

$$P = \frac{F \cdot T_x}{T_o} - F \quad \text{or} \quad \left(\frac{T_x}{T_o} - 1 \right) \cdot F$$

P = Race points

To = Time of the winner in seconds

Tx = Time of the classified competitor in seconds

Downhill	F =	1250
Slalom	F =	730
Giant Slalom	F =	1010
Super-G	F =	1190
Alpine Combined	F =	1360

Fig/Abb 2

PROGRAM FOR NON-PROGRAMMABLE CALCULATORS

(1)	ON	
(2)	F \Rightarrow	1250 DH 730 SL 1010 GS 1190 SG 1360 AC
(3)	:	
(4)	To \Rightarrow	Winning Time
		Required on some models
(4a)	(=)	Stores F \div To in memory
(5)	M + \Rightarrow	\uparrow
<hr/>		
(I)	MR	
(II)	X	
(III)	Tx \Rightarrow	Points for xth competitor
(IV)	-	
(V)	F	
(VI)	=	Round
<hr/>		
(I)	MR	
(II)	X	
(III)	Tx \Rightarrow	Points for xth competitor
(IV)	-	
(V)	F	
(VI)	=	Round